

# 指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

## 1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 6 年度)

施設の名称	東大阪市産業技術支援センター	指定期間	2	年度～	6	年度			
		指定の方法	単体施設を指定管理						
施設所管課	都市魅力産業スポーツ部 モノづくり支援室	連絡先	06-4309-3177						
設置目的	中小製造業等に対する技術支援などにより、産業の育成及び振興を図ることを目的とする。								
施設内容・業務内容等	市域の産業の振興のため、製造業等が抱える様々な技術課題について相談に応じるとともに、センターに設置している測定機器等を低廉な価格で利用に供するなどにより、市内製造業等の製品の高付加価値化、技術の高度化への支援を行う。								
指定管理者	公益財団法人東大阪市産業創造 勤労者支援機構	連絡先	06-6785-3325						
人員体制	正規職員	0	人	パート・アルバイト	0	人	その他	9	人

## 2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	263	267	274	266	269
指定管理委託料(千円)	54,593	54,543	54,024	55,210	未定
利用状況	1 相談件数(件)	1,531	1,814	1,758	補足説明
	2 機器貸出件数(件)	2,401	2,913	2,651	補足説明
	3 ものづくり大受講者数(人)	0	159	50	補足説明

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を断念した。

### 3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全てO、A=×がなく「得点」が75%以上、  
 B=×がなく75%未満~50%以上あるいは×が1個で「得点」が75%以上、  
 C=×が2個以上あるいは×が1個で「得点」が75%未満

「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	B	技術相談員間で定期的なミーティングを行っていること、新規利用者へのヒアリング調査により利用者の動向・ニーズ把握を行っていること等は評価する。避難訓練が2020年以降実施されていない。利用者の予約状況等を勘案し、適切な時期に実施されたい。
B 管理・運営能力 人員・施設の管理、会計処理等(再委託業務を含む)が適正に実施され、快適に利用できる施設環境が整備されているか？	S	新型コロナウイルス感染症の5類移行後も消毒作業を行うなど、利用環境を適正以上に保つよう努めている。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S	会議や研修を通じて相談員のスキルアップを図っているほか、利用者に対するヒアリングを通じた動向・ニーズ把握により、適切なサービスの提供に努めている。
D 市民視点 市民の声 that 反映される管理・運営が行われているか？	S	機器利用者を対象としたアンケートでは満足度100%という結果であり、職員の対応や設置機器を評価する声が寄せられている。リニューアル後、ホームページアクセス数が増加している。キーワード検索により当センターにたどり着く新規利用者も見られることから、引き続きホームページの強化に努められたい。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	相談、機器利用は例年以上のペースで伸びていることは評価する。一方で貸館については稼働率が低く、利用条件を拡大した試作工房の利用も進んでいないため、認知・利用拡大に努められたい。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	過去に発生した徴収事務の不備を教訓に、適切な業務遂行に努めている。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	ホームページのリニューアルなどの認知拡大施策により、技術相談・機器利用の利用が好調に伸びている。貸館についても利用拡大が進むよう認知拡大に取り組まれたい。